

都市生活支援

第1号
1995.3.1

救援ニュース

都市生活救援現地本部
西宮市今津山中町9-9
都市生活西宮センター内
電話：0306181792

支援本部を開設しました

1月17日早朝阪神地方をおそった大地震は戦後最大の被害をもたらしました。被害の大きさは今更言うまでもないでしょう。被災にあわれた皆さんに心からお見舞い申し上げます。

幸いにも被害地域外にあった大阪や京都の生協にとっては仲間として兵庫県下の生協と生協組合員のことが一番に気がかりでした。

そこで、都市生活生協と一緒に生協運動を進めてきた大阪の事業連に加盟している泉北、千里山、東部、西部、オレンジ・コープ泉南生協と京都エル・コープが集まり、都市生活生協支援対策本部を大阪に結成しました。しかし、大阪に居ては毎日変化する被災地の状況を把握し、適切な支援ができないので、都市生活西宮センターに現地救援本部を設立しました。2月6日のことです。都市生活の組合員が行っている炊き出しに食材を運んだり、救援物資の提供、青空市の開催などの活動を続けてきました。都市生活が生協として以前にも増して活発に活動を再開し、組合員の生活が再建されるためにはどのような支援、救援活動が必要かを考えながら動き出しています。ここに、救援ニュースをやっと出せるようになりました。

西宮センターの2階の会議室には、京都や大阪の生協仲間が毎日詰めています。学生ボランティアも参加してくれています。都市生活が被災から立ち上がり、組合員が活動を再開するために必要なことを、生協の仲間と一緒に続けたいのです。

地震発生後、毎日大阪から救援物資が送られ、近畿の、日本全国の生協が都市生活を応援しています。

被災から1月以上がたち、状況も変わってきました。的確な救援活動を進めるために、被災された組合員からの要望を救援本部まで寄せてください。

こんな時だから生協に入っていてよかったと思える活動を一緒に展開しましょう。

現地救援本部長
石田紀郎

3月12日に会いましょう



あいたくて都市生活 みんな仲間だ

いろいろな被害、いろいろな悲しみ、いろいろな元気をもち寄って都市生活の仲間が集います。近畿各地の生協の仲間、生産者もやって来ます。

日時

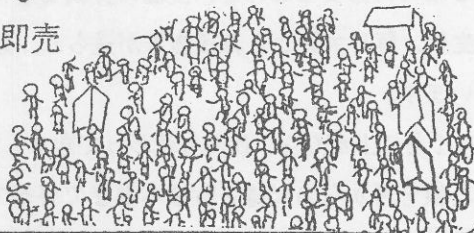
3月12日（日）午前11時～午後2時

場所

- 西宮市：松並公園（JR甲子園から徒歩10分）
- 芦屋市：精道小学校（阪神芦屋から徒歩2分）
- 東灘区：雨の神公園（JR住吉から徒歩10分）
- 灘区：都賀川公園（阪神御影から3キロ）
- 西区：日産アプリシティー（地下鉄学園都市すぐ）

企画内容

- 生鮮野菜の即売
- 都市生活の供給品の即売
- 救援物資の頒布
- 炊き出し
- こどもお楽しみ企画



都市生活のセンターから組合員へ

1. 「都市生活ニュース」NO.1 (1月26日付)より

阪神大震災の発生から1週間がたちました。少しずつ自分のまわりの人たちの様子がわかってきています。組合員の一人でも多く無事である様にと祈らずにはられません。自分を中心に近くの組合員の情報を集めてください。都市生活としてできる事は何か……組合員と組合員で助け合いたいと思います。

都市生活と友好生協である大阪府事業連合会、京都エルコープ、生活クラブ連合会、グリーンコープ連合会そして協同組合石鹸連絡会と、多くの生協から救援活動の申し入れがあり、救援物資が都市生活に届いていますし、支援カンパを呼びかけていただいています。

また、都市生活の生産者の会=であいの会(森本容充代表)では、救援金を呼びかけていただいたり、供給物資を低価格で提供していただけるなどお願いしています。

2. 「北神戸」臨時号(1月30日付、北神戸支部発行)より

北神戸支部組合員の皆様へ

阪神大震災の発生から10日余が過ぎました。北神戸支部では、他の地域に比べ、被害も比較的少なく、徐々に平常の生活を取り戻しつつありますが、皆様のご家族、ご親戚はご無事だったでしょうか。組合員の中には震災の被害を受けた方もいらっしゃる、心よりお見舞い申し上げます。

●名谷センター(西神戸、北神戸、南神戸)

建物の倒壊は免れましたが、内部の被害が大きく、重要なOA機器も破損しました。修理には1カ月以上を要し、当分の間、注文・集計は手作業となります。皆様にはご不便をおかけしますが、よろしく願います。

南神戸支部の大部分、西神戸支部の一部では、まだガス・水道が通じておらず、自宅を離れて避難生活を送っておられる方も多いため、配達もままならない状態です。

●西宮センター(西宮、東神戸)

一番被害の大きいところでは、家を失ったり、怪我をした組合員も大勢いらっしゃいます。情報がわからなかったり、連絡がとれないため配達は行われず、センターで即売をしています。

センターの職員が徒歩で各班を回って消息をたずねて、消息がわからないところは、はり紙をして連絡を待っています。

●宝塚センター(宝塚、尼崎)

名谷センター同様、建物自体の被害は少なかったものの、コンピューターが故障しました。宝塚センター周辺は道路の渋滞がひどく、班配達ができないため、豚肉のステーションを利用して拠点配送をしています。

●被害調査実施中

西宮センターが担当している地区は甚大な被害を受けたため、被害実態調査が遅れています。今週中に調査結果がまとまります。次号で被災状況についてお知らせします。

あなたの問題、あなたの要望を 現地救援本部におよせください

電話：0306181792

「都市生活」支援対策本部と現地救援本部の紹介

1月31日、大阪事業連常務理事会とエルコープとで都市生活支援対策本部の設置が決定され、同時に現地救援本部を設けることを都市生活生協に提案しました。

都市生活生協との合意のもとに、都市生活生協西宮センター内に都市生活現地救援本部の事務所が開かれたのは2月6日のことでした。

支援対策本部は協同組合間協同の原則にもとづき、救援活動、組合活動に対する支援、業務及び経営支援の三つの活動をめざしています。

現地救援本部はこの三つの活動を行えるよう、組合員の被災状況の調査への協力、炊き出し活動の調整と食材の準備、支援対策本部や全国の生協への情報発信などの活動にたずさわっています。

メンバーは次の通りです。

「都市生活」支援対策本部

本部長 和田 千登 (大阪事業連専務理事・泉北生協専務理事)
生田 嘉和 (大阪事業連常務理事・大阪東部生協専務理事)
島岡 照男 (大阪事業連常務理事・大阪西部生協専務理事)
松井 一郎 (大阪事業連常務理事)
石田 紀郎 (エル・コープ理事長)
角田 学 (生協都市生活専務理事)

「都市生活」現地救援本部

本部長 石田 紀郎 (エル・コープ理事長)
金森 昂作 (エル・コープ副理事長)
坂根 輝吉